

8 ヒバカリ

(ナミヘビ科)

兵庫県ランク: 要注目

Hebius vibakari vibakari

環境省ランク: -

種の概要

日本の固有亜種で、本州、四国、九州と周辺離島に分布。全長40～60cmほどの小型の無毒蛇。背面は茶褐色で、うっすらと桃色を帯びることがある。腹面は黄色で、左右の縁近くに暗色の縦条がはしる。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内では水田や河川敷を中心に、陸水の豊富な低地の広い範囲で記録されているが、いずれの場所でも個体数は決して多くはないと思われる。

写真提供: 庄子 恭平

保護上の留意点

本種は幼体時にはミミズや小魚、カエルの幼生などを捕食し、成体になると主にニホンアマガエルやヌマガエルといった小型のカエル類を主食にしている。よってヒバカリの保護にあたっては、こうした餌動物の豊富な生息環境の確保・維持が重要と考えられる。

県内分布

川西市、加古川市、西脇市、小野市、加東市、姫路市、宍粟市、たつの市、豊岡市、養父市、朝来市、新温泉町、丹波市、洲本市、南あわじ市、淡路市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	△
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	
学術性	孤立	
	極限	
	限界	
	希少	△

